



にじのかけ橋

発行／特定非営利活動法人にじのかけ橋 〒658-0054 神戸市東灘区御影中町8丁目3-14

電話078-842-7765 ファックス078-842-7790 E-mail : nijikake@alpha.ocn.ne.jp

<http://www11.ocn.ne.jp/~nijikake>

「残すもの」と「見直すもの」

「にじのかけ橋設立10周年記念」の行事には、大勢の方々の励ましとお祝いをいただき心より感謝申し上げます。

毎年のように障害福祉施策が検討され、「にじのかけ橋」も新しい障害福祉サービスに即した地域移行、地域支援に見合った事業を見直し今日に至っております。

これからの10年は「残すもの」と「見直すもの」そして「守らなくてはならないもの」と「変えていかなければならないもの」・・・大切な過渡期であり大きな節目を感じます。

唯一の「にじのかけ橋」のオリジナル製作品「押し花はがき」は設立当初、何も仕事がない時期、ある方が押し花製作の提案と共に器材、花材の提供を申し出てくださいました。

開設以来「にじのかけ橋」から10名近くの利用者が福祉就労に・・・又、ステップアップして就労支援事業所へ・・・そして自分にあった生活スタイルを見つける為に・・・それぞれ模索して羽ばたいていきました。

「にじのかけ橋」は、利用者にとって、その時どき



にじの向こうにはボク達の未来が・・・

和太鼓がやってきた！



利用者、ボランティアの方々のアイデアとセンスで、オンリーワンの商品となり、大変好評を得ましたが、やがて製作に携わる利用者とボランティアが減少して6月末で幕を下ろすことになってしまい、言い尽くせぬ寂しい思いがします。

に一番ふさわしい暮らし方や、生き方が選択できるような「通過施設」でありたいと考えております。しかし10年を過ぎた今、ややもすると日々の支援が守りの体制になっていないかと反省しきりです。

「利用者へ伝える情報が自分のポケットの数だけしかない」という事にならない為にも、「にじのかけ橋」の4項目の理念【社会参加できる人づくり】

【社会参加できる商品づくり】【個々に応じた生きがいづくり】【在宅障害者を支える地域づくり】に加えて、更に「貪欲な好奇心」と「ユニークな遊び心」を発揮する支援員一人ひとりが「変えていかななくてはならないもの」に気づき、「井の中の蛙」に

ならないよう外に目を向けて一層の研鑽を積みかさねていきます。そして時代に応じた取り組みを心がけながら7年先の東京オリンピック開催と同時に、実施されるパラリンピックの成功に向けて可能な限り支援していきたいと思っております。(理事長 武田 純子)

10周年記念事業を終えて

施設長 岡崎 充男

今年1月の「にじのかけ橋設立10周年記念事業」を無事に終えることができましたことを感謝申し上げます。

1月12日(土)の「インド舞踊公演」は会場の「うはらホール」2階席まで埋め尽くす来場者で、タンマイ・ナティヤアラヤ・インド舞踊研究所の力強い踊りは明日への希望と勇気を与える感動のステージとなりました。

翌1月13日(日)は「10周年を祝う会」を「シーサイドホテル舞子ビラ神戸」にて開催いたしました。今までお世話になった行政・福祉団体・協力企業・じゅうしん父母の会・地域でお支えいただいている団体の皆様など100名近くの関係者をお招きし、感謝と交流の和やかなひとときを過ごすことができました。記念式典では、永年に亘りボランティアとして関わっていただいた7名の方と、協力企業3社に対して感謝の気持ちを込めて感謝状を贈呈いたしました。

また、職員以外の外部からも5名の方が記念事業実行委員として企画や準備などにご協力いただきました。

2日間の記念事業イベントには多くの皆様から大きな糧をいただくと共に、「にじのかけ橋」の新たなスタートを切る場となりました。私たちはこれからも地域福祉の拠点としての使命、役割を果たしていくことを目標に、利用者ご家族の皆様へのより良いサービスの提供を心がけ、更なるチャレンジングな取り組みを行っていく所存です。引き続き皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「10周年を祝う会」ご出席者の中から、お二人の方のメッセージを紹介させていただきます。

○本日はおめでとうございます。民生委員として出来る事は本当にささやかで微力ですが、無力ではないと信じて、できるだけ支援をさせていただきます。給食づくりもいろいろと意見を聞いていますので、また、お話をさせていただきたいと思えます。

(東灘区民生委員児童委員協議会 障害者支援部会 会長 森本早苗)

○10周年記念事業に参加させていただいた事を心から感謝しています。10年の歩みは、一步一步踏みしめながらのご努力による跡が窺われました。私どもは少しでもお役に立つことができたと存じていますが、力不足を痛感しているところです。地域活動を通じて今後とも福祉の向上に役立つようつとめたいと思っています。にじのかけ橋様のご活躍を心から祈念しています。(本山第二小学校区防災福祉コミュニティ 会長 渡辺利信)

障害者を受け入れて

特別養護老人ホーム 協同の苑六甲アイランド
施設長 松井 敦

「高齢者施設で障害者のショートステイを受け入れてほしい…」と、以前よりたくさんの方からご要望をいただいていたのですが、ようやく昨年12月に障害サービスの指定を受け、今年4月よりショートステイの利用を開始しています。

受け入れにあたって、はじめに介護職員が心配になったのが、介護する対象者が『高齢者』ではなく『障害者』ということで、「『障害』についての知識や理解が不十分な私たちが、お世話をさせてもらって大丈夫か？」ということでした。そして、新しい取り組みに対しての不安や課題もありました。

しかし、職員間での話し合いを重ねる中で、「実際に会ってみないと…」「実際に受け入れてみないとわからない」という結論に至ってからは、それらの不安も小さくなっていきました。

はじめての利用者になられる「にじのかけ橋」のF様のご自宅に伺い、直接お会いし、お話をお聞きしてからは、本当にスムーズにご利用まで進んでいきました。実際にお会いすれば『高齢』や『障害』ということではなく、皆さん一人ひとり『個人』であるということを改めて知らされる良い機会にもなったと思います。

関係者の皆さま、ご協力ありがとうございました。これからも引き続きよろしくお願いいたします。

ひろがる つながる まなぶ

皆で手作り昼食



今年度から御影北地域福祉センターの広いキッチンをお借りして、のびのびと料理にチャレンジしています。



これから、どんどん地域の方とのつながりが広がればうれしいな～と腕を振っています。

働くって？

利用者の社会体験の一環として「ワークホーム明友」を訪問しました。他の施設の仲間の仕事ぶりを見学して、よい刺激を受けました。

参加者の声：

- 仕事に真剣に取り組んでいるなー！
- みんな真剣！
- 初めはきんちょうしたけど、どんどん慣れて楽しかった。



将来の夢につながる笑顔

福祉に関心のある中高生が「ぶどうの木」で体験学習。

「利用者さんの笑顔はすごく大きな力を持っていて、一緒にいると私も笑顔になって楽しい気分になれました」との感想もありました。私達、支援員も皆さんの変化をみるのがうれしく、笑顔の力を実感できる時間でした。



芦屋で 足湯



ぶどうの木から車で5分、潮芦屋の足湯に行きました。「こっちで浸かったら」と声をかけてもらい、車



いすから降りて、お湯に浸かり、いい感じ。足元ぼかぼか、じんわりと温もって、表情も緩んでいきます。近場への外出でほどよく気分転換！

にじかけコーラス隊 デビュー

地域の高齢者の方が集う会で合唱しました。コーラス隊発足から半年、外で歌うのは初めて！メンバーのドキドキ感と一生懸命な思いが力強い歌声となったひとときでした。聴いてもらえる喜びにはまりそう。さあ、また練習するぞ！



福祉体験学習を終えて

東灘高1年 松田 茉凡

障害のある人達と向き合うのは簡単ではないなと思いました。理解するのに時間もかかりますし、体力的にも精神的にも疲れる仕事だと思いました。ですが、皆さんが個性的で、笑わせてくれたり、困らせたりと、一緒にいて楽しく、やりがいがあるなと思いました。それに生きる勇気も与えてくれました！

この体験が将来の夢をかなえるための小さな一歩となり、叶えたいという大きな気持ちをおこさせてくれました。本当にありがとうございました。この実習で学んだことを忘れずにがんばりたいと思いました。

4月から仲間になりました

むずかしいお年頃で

にじのかけ橋 保護者 新谷 佳恵

友生支援学校・地域の小中学校・青陽東養護学校と、身体の発達に合わせて各学校を経験してきました。そして、この春からは「にじかけ」さんにお世話になっています。息子の売りは「笑顔」と「頑張り屋」。短所は「恥ずかしがり屋」と「頑固」。最近では思春期やら反抗期やら…？ 短所が前面に出てしまっている様子で…。それでも職員さんは温かく見守って下さって、本当に有難いです。この時期を抜けたら、長所を生かして生活できると信じ、母も忍々！！ 頑張りまーす。皆さん、ご迷惑おかけしますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

♥ ハートケアだより ♥

可能性の引き出し

私たち「ハートケア」の主な仕事は、生活を支援することです。

そしてもう一つ、利用者の出来ることを増やすことも大事な仕事と思っています。

皆さんそれぞれに可能性をたくさん持たれています。でも、その可能性の引き出しを上手く使えないだけ...。その引き出しの中の整理を少し手伝ったり、出し入れの順番を少し変えてみるだけで、思った以上の効果が出る場合があります。本当に小さなきっかけで今まで難しかったことがスムーズに出来たり...。

私たちは、その可能性の引き出しから上手く出し入れが出来る様に工夫して、出来ることが増える様、そして出来たことの喜びを共有出来る様に頑張っていきます。

(管理者・サービス提供責任者 鷺池 美智子)

明日に向かって

ヘルパー 松岡 真央

私は中学二年生の時、トライやる・ウィークで「ぶどうの木」で体験をさせて頂きました。

小さいころから人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。姉が友生養護学校卒業後、「ぶどうの木」に通所していたので、私は高校一年生から4年間「ぶどうの木」でボランティアをしながら、いろんなことを勉強させて頂きました。高校卒業と同時にハートケア「にじのかけ橋」の登録ヘルパーとなり早や8年になりました。たくさんの利用者様にかかわらせていただき、心が通い合う嬉しさもあり、いろんな体験ができて毎日が勉強の日々です。ありがとうございます。ほんの少しだけでも、利用者様やご家族のお役に立てて嬉しく思います。

今、新たな目標に向けて頑張っています。これからもよろしくお願い致します。

◇ヘルパーさん 大募集！！ 空いている時間を有効に使ってみませんか？

平日のみ・午前のみ・午後のみでもOK。 土・日・祝日のみもOK!

お電話ください。 — 078-842-7793 まで —

新入職員紹介



<にじのかけ橋>
大西佐知子 (支援員)
熊谷 章 (支援員)
内田八重子 (看護師)



<ぶどうの木>
大竹憲司 (支援員)
本間ヒロ子 (看護師)



退職職員

H25.3.31 ・ぶどうの木 支援員 谷 崇史
・看護師 小寺八重子

<特定非営利活動法人にじのかけ橋 役員>

理事長 武田純子 副理事長 松田安修
理事 岡崎充男 西村美絵子 田中康 松井秀成
監事 橋口文博

<職員・スタッフ>

施設長 岡崎充男
事務 高坂恵美子 山田和子
嘱託医 森垣 駿
○生活介護 にじのかけ橋
主任 胡 正之 看護師 内田八重子
支援員 羽田晋也 吉田直美 熊谷 章
長田祐子 大西佐知子 池本 薫
スタッフ 池田恵子 西村美絵子
ドライバー 笹田健次郎 本屋敷四郎
○生活介護 ぶどうの木
副主任 木田京子 看護師 本間ヒロ子
支援員 幣 尚子 大竹 憲司
ドライバー 池野利仁
○居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」
管理者・サービス提供責任者 鷺池美智子

ホームページ <http://www11.ocn.ne.jp/~nijikake>

∞編集後記∞

見て、聞いて、話して、触れて、感じて、刺激しあって等々の体験が次の行動につながっていったら素敵だなと思います。機関誌を通じて、さまざまな活動の広がりを感じていただけることを願っています。

(編集委員：木田・羽田・高坂・池田・山田)

○生活介護 にじのかけ橋：神戸市東灘区御影中町8丁目3-14
Tel. 078-842-7765/Fax. 078-842-7790

○生活介護 ぶどうの木：神戸市東灘区深江南町2丁目9-7
Tel/Fax. 078-451-8850

○居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」：
神戸市東灘区御影中町8丁目3-14
Tel. 078-842-7793/Fax. 078-842-7790